

セカンドセックス

2021 ごまらららハート

//トラック1

「.....はあ.....はあ.....ああ.....んっ.....はあ.....あああっ！」

「ああっ！ あっ、そこ.....ヤバ、い.....！ ダメ、だって.....それ、されたら.....
アタシ、すぐ.....イっちゃうから.....！」

「あっ、ああっ、もう、んんうっ.....！ お兄、本気、出し過ぎ.....あっ、無理、我慢、
できなっ.....あ、あっ、あっあっ——」

「んん、んああっ.....あああああああ.....！」

「はあ.....はあ.....はあ.....ん.....バ、バカあ.....お兄、エグすぎい.....」

「今日は.....ラブホで.....ゆっくりイチャイチャするって.....約束だったじゃん.....んな
飛ばしてたら、お互い、持たないっしょ.....」

「んっ、あ.....こら.....まだ抜くなよお.....い、いいからこのまま、くっついてろって.....」

「はあ.....はあ.....ったく、ちょっとは有難がれし.....♡ 幼馴染の現役JKが、こんな簡単
にセックスさせてくれるとか.....普通、ありえないから.....」

「.....もお～～、理由くらい、絶対分かってんじゃん.....言わせんな.....」

「.....ん。電話、鳴ってるけど？」

「ふ～ん.....無視しちゃうんだ？ それって、アタシがいるから？」

「にひひ♪.....じゃー、アタシがトドメさしたげる」

「ん、しょ.....」

「はい、これでまた.....お兄とアタシ、二人だけ.....♡」

「あー.....まあ、大事な電話だったらゴメン」

「でも、さ.....お兄も.....何と言うか.....それどころじゃないっしょ」

「ほら.....まだ時間.....たっぷりあるよ.....？」

「.....ねえ、どーする.....？」

「.....も、もっかい、.....スる？」

(恥ずかしがりながら)

「ふ、ふーん.....そんなにしたいんだ.....やっぱ.....男なんだな、お兄って.....」

(頬にキス)

「ちゅっ……えっと……スるんならさ……シてあげる……」

「だ、だからさ……お、おつきくしないとデキないじゃん。だから、アタシが、その……舐めたげようかって……」

(口にキス)

「ふふっ、はい、任された！ ちゅっ……それじゃ……おちんちん、一回抜くから……」

「んん……あっ……あ……」

「ん……ゴムも……アタシが取ったげる……ん…しょ……」

「わ～……♡ エグい量出してんじゃん……！」

「でもおちんちんは、まだまだ元気って感じ……♪」

「前から思ってたんだけどさ……もしかして……お兄って、絶倫ってやつ？ 友達のカレシとか、1回したら大体バテちゃうって聞いてたんだけど……」

「あー！ ストップ！ おちんちん拭くなって！ その……付いてる白いのごと……アタシが舐めるの……」

(フェラ)

「ちゅ……ぺろ……じゅる……ちゅる、ちゅぽ、ちゅぽ……んう……ん？ んー……」

(啜えながら)

「うん、くさいよ。まずいし。でも……これがお兄の匂いと……じゅるる……味だからあ……ん……ちゅむ……ふ……これが……いつも、アタシをイカせてくれるんだね……ナカで……あんなに……シて……」

(フェラ)

「ちゅむ……はあ……んう……ふふ、勃ってきたあ……んんん……あふう……んふふ、はやくおつきくなれよー……んー……れるれる……んう……」

(啜えながら)

「じゅぶじゅぶ……お兄のおちんちんなんて……れるる……子供の頃から、見てたじゃん……はあ……じゅるるる……んー……れるるる……幼なじみだもん、一緒にお風呂入ったりしてたんだからさあ……はふ……じゅぶぶふ」

(啜えながら)

「んむ……でも……あの頃と、全然違うじゃん……はむっ……普段もだけど……こうひて……じゅっ、じゅぶっ、じゅぶぶ……んあ……おつきくなると……全然……んう……れるるる……じゅぶぶぶ……」

(啜えながら)

「じゅぶ……んむう……ちゅむちゅむ……子供の頃のアタシ達が、今のアタシ達見たら、んふ、んう……はふう……びっくりするよね……おちんちんがこんな……おつきく反り返って……それにアタシが……お兄のおちんちん舐めてるなんて……じゅぶぶぶ……れるるるっ……」

(フェラ)

「はあ……じゅぶ、じゅぶぶぶぶぶ……んむっ！」

(啜えながら)

「んー、もう口に入りきんない……はみ出しちゃう竿のとこ……手でコスコスするね……
こしこし……ん……おちんちんビクビクしてきたあ……んふふ、可愛い……♪」

(啜えながら)

「先っぽの割れ目、舌でしてあげる……れるれるれる……あっ、ごめん。夢中になると手が
止まっちゃう。コスコスしながら……じゅぷ……れるれるれる……」

(啜えながら)

「んむっ！？ ふふ……そうだよ～？ じゅぷぷ……手の向きかえたの……ちゅぷちゅぷ
……逆手？ ていうの？ これすると、裏筋擦れるからあ……男の人は喜ぶよおって……
友達が教えてくれたの……だってお兄、裏筋好きじゃん？」

「はあ……裏筋舐めたくなってきた……れるるる……ちゅ……根本太い……今度は
先端に……れろおお……」

「あっ、いけない。また手がとまっちゃった。えっと、手もコスコスして、袋の方も
モミモミして……」

「れるれるれる……ちゅ……ん……おちんちん熱い……硬いし……はあ……濃い匂いが
ムンムンしてるう……れるれるれる……」

(以下、啜えながら)

「じゅぷ……ん……んふ……ねえ……アタシ……ムズムズしてきちゃった……じゅぷ
じゅぷじゅぷ……ごめんだけど……手、離してもいい……？」

「ありがと……ん……ねえ……恥ずかしいから、こっち見ないで……れるるる……
見せてって……んむ……ムリだよ……ちゅ……はあ……ん……だけど……ウズウズして
辛い……」

「んむ……今日だけ、だからね……こんな……自分でおっぱい揉んでる……恥ずかしい
ところ見せるの……んっ、んうっ……！ はあ……ん……くう……ああああっ……！
乳首……気持ちいい……！」

「んっ、じゅぷっ、れるるるるる……んうっ……はうっ……ん……んう……足りない
よお……じゅぷぷ……乳首、ギュってしてるのにい……んう……もっと……れるる、
ちゅ、ちゅむ、ちゅぱっ、んんん、じゅぷじゅぷじゅぷ……んう……はあ……
おちんちん、もう……凄いい……はあ……美味しくて……んう……アタシ……
濡れちゃうよお……」

「ふう、ふう、ちゅむむむ……ふえ？ なに？ ん……じゅぷぷ……んう……そう、
だけどお……触りたいのは……おっぱいじゃない……けど……んう……自分で……
指で……なんてやだあ……ちゅぷぷ……んむう……そんなのむり、それだけは、
ほんとむりい……」

「んう……見たい……？ ちゅ、ちゅぷ、んう……フェラしながら……自分で、してる
ところ……見たいの……？ でもお……ね？ フェラもっと頑張るからあ……
一人えっちは恥ずかしすぎるよお……」

(フェラ)

「じゅぷぷぷ！ じゅぷぷぷ！ じゅぷ！ ちゅぷ！ ちゅぽ！ じゅぷぷぷ！」

(啜えながら)

「んううっ……おつきい……はあ……もういいでしょ？ ね？ もう挿れて……挿れて
……んう……？ 一人えっち、しなきゃダメ？ やだあ……ね、これ挿れて……」

ほしい……ほしいの……ねえ……お兄も限界のくせに……わかった、わかったよお……」

(咥えながら)

「んんんっ……！ あっ……指、挿れたよ……けど……足りない……足りない……
んむっ、ちゅぷちゅぷ……ねえ……指じゃ足りない、ねえ、これ、お兄のおちんちん
じゃないと……届かない……足りないのお……」

(咥えながら)

「ねえ……じゅぷぷ……これ頂戴……お願い……ね、いいでしょ？ 指、挿れたじゃん！
ねえ……ねるるるる……じゅぷぷぷぷ……じゅぽっ、じゅぶ、お願い、願いい……」

「はあ……ほんと？ いいの？ 早く……早くう……そうだ、ゴムつけたげる」

「ん……すごおい……こうしてみると、すごいいっき……熱いし、硬いし……出来た。
ねえ、このゴムキツくない？ 大丈夫？ ならいいけど……なんか、キツそうに見えて
……ゴム、ピチピチで……」

「お兄はそのままでもいいよ。さっきいっぱい動いたから疲れたでしょ。アタシが全部して
あげる」

「あっ……、でも、その……アタシ……ま、一人で挿れられないから……挿れるとこだけ
手伝って」

「そうやって、おちんちん持ってて。んっ……んんっ……あっ……ここ、だあ……んんっ
……あっ！ 入っ……たあ……んんんっ……！」

「はあっ……どんどん入っちゃう……！ あっ、ああっ、やば、やばいってえ……！
これ……深く、なっちゃう……！ さっきより、もっと、奥まで……あっ、ああっ、
来る……来るうう！！」

「あっ……ああああんっ！！ 深い……深いよお！！」

「や……やっぱい♥ こんな……奥う……はあ……さっき届かなかったとこ、
当たってるう……」

「はあ……はあ……ん……動くね……」

「んっ……ああっ、んふっ、あっ、んう……♥ あっ、うん、へへ、そう、だよ……
ナカの……好きなどこ、あたるように……動いてる……あ、あふっ、あ、ああっ、
きもちいい〜♥」

「ああっ、あんっ、ああっ……！ ん……ちよつとお……」

「あん……もう……おっぱい見すぎ……」

「でもお……んっ、んっ、んう……ふああ……ん？ ふっ、ふっ、もう、男の子だなあ……
あふっ、いいよ……好きにして……」

「ああっ！ だ、だからって……いきなり触っちゃ……ひやああんっ！ やらっ、乳首、
それ……好き、好きいつ……！ はあっ、うう……感じちゃう……♥ ぬ、濡れる、
濡れるからあ……♥ 乳首、クリクリしちゃ、やあ……！」

「ああんっ！ さ、さっき、自分でしたのと、全然違う……！
腰、腰止まんないっ……！」

「あっ、あんっ、あっ、これやば、やばいいっ……！ 奥のいいとこ、先っぽがっ、ゴリゴリって、太いのっ、強く、当たって……んくう……！ はあ、ああっ、気持ちいい……♥」

「んっ、ん？ おっぱい持って、なにして……あああああんっ！」

「乳首っ、だめ、んうっ、ピンピン弾かないでえ～！ ああっ、やあ、それ弱い、知ってるでしょお……！？ はあっ、あああっ、んあっ、はああんっ……！」

「やああっ、ナカ、動いちゃう……はあ……んんう……はうう……ねえ、アタシ、おちんちん締めすぎじゃない？ 痛くない？ んっ、んうっ、もう、よすぎてえ♥とまんないのお……！」

「痛くないの？ ……気持ちいいの？ はあ……あん……アタシとえっちするの、気持ちいい？ 好き？ えへへ、そっかあ♥」

「それなら、いいよ♥ おっぱいに、何してもいいよ♥ はあ……うん……乳首も、おっぱいも、全部好きにしていよ……あ、あああんっ！ それっ、いい、ああっ……あううんっ！」

「あ、あふっ、ナカ、締まって……おちんちんの形、わかるうっ……！ は、はあっ、ナカのいいとこ、深いとこまで、全部、当たって、ああっ……♥」

「お兄のおちんちんも、テクも、手も、すごすぎいい♥ は、はあっ、えっち、する度、アタシの身体、女になってく……♥」

「あっ、あっ、ああっ、あうっ、あっ、腰、止まんないっ……！」

「ひゃあああんっ！ ああっ、指で……クリいじっちゃう……お兄の前なのにつ、オナニー、止まんないんよおっ！ おちんちんでゴシゴシされながら、オナニーするの、きもちいいおっ、ああっ、はうっ……んあっ！」

「……んんっ、だめ、我慢できない……ごめんね、アタシ、お兄とえっちしてるのに、気持ちよくなるのに、夢中になっちゃってえ……はああんっ、あ……や——っ、あ、ああっ！」

「ひゃあああっ！ あっ、ああああああっ！ やば、これ、やばいい！ いい！ ひゃあああっ！ ああ……あああああんっ！！」

「んっ、どこ、触ってるって……く、くりい……あっ、あああっ、んっ、だから、クリ、だっばあ……！」

「全部、言わなきゃ、だめって……い、意地悪、意地悪うっ……！ ひゃあああああんっ、だめっ、乳首、それだめっ、感じる……感じるうっ……！」

「そ、それって、いうのはあ……ち、乳首を……強く、ぎゅって摘んで、先っぽを、コスコスするのでえ……ひゃあああっ、だめだっばあ……！」

「い、言うまで、やめない……？ ……い、言う、言うからあ……！ ゆ、アタシはあ、お兄とえっちしてるのに、く、クリトリス、自分で、クリトリス、いじって、気持ちよくなって、ましゅう……♥」

「ああああっ！ おっぱい、や、やめるって、い、言ったのに……！ は、激しくなったりゅう！ ああっ、もう、だめ、アタシだめ、おっぱいも、クリも、奥も……あっ、もうイク、イクうっ……！」

「はう♥ ごめんねっ、また、アタシの方が、気持ち良くて♥ あ、ああっ、くるっ、くりゅう♥ あ、ああ、イクイクイク.....！！」

(絶頂)

「ああああああああああああああんっ！！」

「んああああっ！！ ナカで、おちんちん暴れてりゅ、ああっ！ 出てる？
出てるの？ う、嬉しい、あ、ああっ、アタシ、またくるう.....精子で...びゅっびゅ
されて、イっちゃ...！」

(絶頂)

「や、やああああっ！！ あああああっ.....！」

「はあ.....はあ.....んう.....はあ.....はあ.....」

「へ.....？ うん.....大丈夫.....大丈夫だから.....もう少し.....このまま.....ぎゅって
して.....」

「はあ.....気持ちいい.....ほっとする.....」

「ねえ.....お兄はどうだった.....？ ふふ、気持ちよかったっしょ.....？」

「だってお兄も.....イクとき、すごかったんだよ.....？ おまんこに精子びゅっびゅ
したいよお、って必死な顔してて.....あんな顔、ぜーったい.....他の人には、見せちゃ
ダメだかね.....」

「.....ん、約束♥ そのかわり.....アタシのおまんこ.....いつでも、使わせてあげる.....♥」

「.....今日はどーする？ 疲れちゃった？ ん、アタシも♥じゃあさ、もーすこし、ベッドで
のんびり、イチャイチャしてから.....」

「.....ってあれ？ ヤバ...退出まであんま時間ないじゃん.....」

(照れながら)

「...なんかすごい...夢中になっちゃったね.....」

「.....ふふ、お兄、腰へロへロになってるし♪ ウける.....」

「いーよ、先シャワー浴びるから、少し休んでなって」

「今日も.....お疲れさま.....その、か、カッコ良かったぞ.....」

「次会う時もさ.....変な遠慮とかしないで、もっとたくさん、お兄の好きにしていーから」

「.....ガマンとかしたら、ショーチしないから.....な、約束しろし♥」

11トラック2

「あああっ……あうっ……あああああっ、もう、だめ、だめえっ……！」

「あああああっ！！ イイ！！ イイ！！ はう……ああっ、んう……
あああああっ！！ そこっ！！ そこっ、ああっ！ いやああっ、イツちゃうう、イク、
ああああ、イクう……！！」

(絶頂)

「んっ……ああっ、あああああっ……んんんんんっ……！ んっ、んんんん……！！」

「はあ……はあ……ああああ……あ……んう……あっ……膝、まだ震えてる……」

「お兄、ちゃんとイケた……？ アタシ……もう、途中からわけわかんなくなっちゃって……」

「ん、イケたならよかった♡ にひひ……JKギャルのおまんこ…… 今日も
最高だったっしょ…？」

「でもさ……お兄、まだまだ……こんなんじゃ物足りないよね……」

「もー、いちいち言わせんな……アタシだって……結構ハズいんだから……」

(照れながら)

「ねえ……もう一回シよ？ ……今日さ、いつもより時間長めに取ってたじゃん」

「う～～……こっちの心配とかしなくていいから。あんな激しくしたくせにさ……♡」

「ん……あ……うあ……はあ……はあ……ヤバ……抜いたのに……まだお腹の中に、
入ってるみたい……」

「ん……今日はあ……ゴム取らないで、このままゴシゴシしちゃうから……♡」

「びゅーって出した精液くちゅくちゅしながら手コキすんの、好きっしょ♡」

「……え、耳も舐めてほしいんだ？ ふーん……」

「な、なんか……お兄、変態みたい……♡」

「いーよ、やったことないけど……お兄のためなら、頑張っちゃうし♡」

「あ、別に拭いたりしなくていいから。お兄が汚いわけじゃないじゃん」

「それじゃあ……ん……しよ。お隣、失礼しま～す♡」

(耳舐め)

「ちゅ……れる……ちゅぶ……こんな、感じ……？」

「だいじょーぶ、忘れてないよ。おちんちんもちゃーんと、シゴくから……」

「うわあ……ゴム越しにせーし、たぶたぶしてんだけど……もしかして、溜めてた？
アタシにゴム越しでびゅびゅーってしたくて……ガマンしてたっしょ？ ……にしし、
そーいうの、嫌いじゃないぞ♡」

「ちゅ……ちゅ……ぺろ……ぺろぺろ……はあ……じゅるるるっ……ん？
こうやって……じゅぶじゅぶ……ん……お耳、フェラする方がいいの？ 反応が
全然違うじゃん」

「じゅぶじゅぶ……あ……ちゅむちゅむ……れるるる……あれ？ こんなところに
ホクロあったっけ？ ほら、ここ。あー、ここ、自分じゃ見えないか。アタシも
気付かなかったな……ちゅっ……」

「れるるる……ちゅむっ……じゅぶじゅぶ……ん……ちゅむちゅむ……れろ、
ちゅ……ん……んふふ……おちんちん、硬くなってきたね……」

「おちんちんも、一緒に触るよ。普通に握るのと、逆手と、どっちがいい？ オッケー、
そっちで握るね……うわ……♥ マジドクドクしてんじゃん……」

「ん……う、こうして触ってるとさ、やっぱ……お兄のカリって、結構エグいよね……
おまんこの中でひっかかるたんび……意識飛びそうになっちゃうんだけど……♥」

「JKギャルをただのメスにしちゃう、エローい形してる……♥ お兄は分かんないだろう
けど……アタシ、結構照れ屋なんだよ？ でも、このおちんちん前にしたら……もう、
ガマンとかムリ……♥」

(以下、耳舐め)

「ちゅ……くちゅくちゅ……ん……おちんちん、ビクってした……れるる……はあ……
耳、好きなんだ……ふー♥ あはっ！ ふー♥ ちゅ……ちゅむっ……れるる……」

「ん……おつきなくなってく……ちゅっ、ちゅぱっ、れるるる……硬い……んう……
ぐちゅぐちゅ……はあ……んー……？ 耳まで真っ赤にしちゃって……もー、可愛い
かよ～……♥」

「んう……ちゅるるる……ぐちゃ……ねちゃ……ん……ちゅぱっ、れるるる……んふっ、
はあ……ちゅむちゅむ……じゅぶじゅぶじゅぶ……んう……はあ……♥ 硬あい……♥
これが……さっきアタシのナカで……あんなに……強く……はあ……んう……早く
欲しい……♥」

(耳舐めここまで)

「はあ……はあ……あー、ムリ……もーちょっとだけ、お兄の可愛いとこ、見たかったん
だけど……これ、ガマン出来ないヤツ……♥ いいよ、ゴムとか付け替えなくて……
このままいれちゃお？ もう、待てないから……♥」

「んあああっ……！ あっ、ああっ、二回目……なのに、全然……元気……♥
ふ……とい……っ！ あ、あふっ、んうっ、あっ、あっ」

「お兄……キス……キスしてえ……♥」

(ディープキス)

「ちゅ、じゅるる……れるるる……ん……んふっ……♥ れるるる……ごく……んむっ……
ちゅむちゅむ……じゅるるる……ん……んう……！ んむっ……ぷはあっ！」

「凄……いい……♥ はあんっ♥ あっ、ああああっ♥ いいとこ、擦れたあ……♥
は……はあ……来るう……♥ アタシの、一番奥に、おちんちん来るうう……♥」

「あああああ……♥ んんん～♥ いい～♥ いいよお～♥」

「あっ♥ あっ♥ あっ♥ 腰、止まんない♥ 始まったばっか……なのにい……アタシ、やばい……おちんちん、しゅごいつ、すぐイっちゃう……♥」

「ふぁ？ ふへ？ 前の……？ オ、オナニーしながら……セック……ス……あっ……！
あの……指で……ふぁ……ん……いじりながら……んう♥ するやつう……♥」

「んんん〜♥ あっ、やらやらあ♥ 思い出したらあ♥ おまんこキュンキュンして……
う、うずうずすりゅう♥」

「ん……ねえ……お兄にしてほしい……ね、手を置いてくれればいいからさあ……
んっ、んああっ、ねえ、ねえっ、お願いっ」

「お兄のっ、指がいい、ねえ、ねえ！」

「んんん〜、あう、もう、いじわる、いじわるう……！ はあ……んん……
我慢できないい……アタシ、アタシ、自分でするう……！」

「ああ！ あああっ！ んうっ！ はあっ！ これっ、これきもちい♥ きもちいおお♥」

「ああああ〜♥ んんんう♥ はあう♥ ねえ……どうして、こんな、やらしい、えっち、
知ってるの……？」

「えっちな、動画……？ やっぱ、りい……、知ってるよお、お兄が、えっちな動画、
オカズに、してるのお……」

「ううん、ぜんぜん怒……ん、ないし……男の子なら、当然じゃん……一人エッチくらい、
誰でも、するっしょ？」

「そ、それにい……お兄が、何で抜いてても……本当にえっちしてるのは、アタシ
だけだし……あ……あふっ……あ、ああんっ！！ ああ……あああああ〜ん♥」

「ふああ♥ んうっ、おまんこ、締まるう……♥ あ、あああっ♥ お兄の、形に
なっちゃうっ、ナカ全部っ、おちんちんに当たってりゅう♥ これっ、これやばい、
やばいってえ♥ あっ、ああっ、あああああんっ！」

「ナカのイイとこ、全部っ、おちんちんに責められてりゅう♥ やあっ！！ 腰、腰、
止まんな……あああんっ！！ むり、むりむりむりっ！！ おまんこ全部と、
クリ、一緒、なんて、頭、壊れちゃうよお……！！」

「ひゃああっ！？ ま、待ってえ、い、今、おっぱいらめ、その触り方、一番……
感じりゅからあ……」

「ああああああっ！！ らめえっ、乳首、ぎゅってしないでえっ！ ああっ、コスコス
されると……んううっ、きちゃう……きちゃうよお……！」

「ぷはあっ♥ ああああっ、ああんっ、イイ……イイよおっ、あ、ああっ、あっ、
ああ……んうっ……おかしくなるう……は、はあっ……また……溜まってく……
気持ちいいの、お腹の中に、たまってく、はあ、ああっ、きもちいの、
ふくらんでえ……あ、あああっ、身体の中、いっぱいになっちゃうよお……！」

「ん、やああっ、やらあっ、頭、頭の中まで、全部、あああああ♥ 気持ちいいよお♥
ああ♥ もうらめ、こんな……気持ち良いなら、もう、死んじゃうう……♥」

「あっ、ああっ、あっ、ああああんっ！ あ、あふっ、ああっ、イク、もう、アタシ、
あああっ、ごめん、なさい、アタシ、あああっ、来る、来ちゃう、やら、やなのにい、
まだ、イきたくない……のにい……んふぁ♡ ああああっ♡ お腹も♡ おまたも♡ 脚も
震える、もうい……いっちゃうよお……ごめんなしやい……！」

「あ、あああっ、あ、あんっ、ああっ、あああっ……！」

(絶頂)

「んんんんんんんんんんんんんっ……！！ あっ、いやあああっ、あああああっ、
あああっ、あああああああああっ……！！」

「っはあっ！ あっ、はあ！ はあ……はあ……ああ……」

「んっ……おちんちん、おつきい……ままだね……ごめんね、アタシだけ、一人で先に
イっちゃった……」

「アタシ、まだ頑張る……けど、ちょっとだけ、待って……す、凄い、イッたの……
まだ……ナカ痙攣して……止まらな……」

「あうっ！？」

「やあっ、待って！ 突き上げ、ないでっ！ あうっ、これ、深っ！ ま、待って、
お願い、これ、凄い、やばいっ！」

「い、イッたばっか、なのにいっ、あんっ、あんんっ！ そ、そんな、激しく、
さえたらあっ、あっ、あっ、あんっ！！」

「あああああっ！ あっ！ あんっ！ あああっ！ んうっ！！ あっ！
ふ、深いっ！ あ、ああああああああんっ！！」

「し、子宮、子宮口、あ、当たっ、て、るうっ、あっ、あっ、い、いっ、んんうっ、
お、おちんちん、太いい、おまんこ、おちんちんで、いっぱいになってりゅう……
あ、あふうっ……！」

「らめ、らめえっ、すぐ、すぐまた、アタシ、アタシあ、イ……イっちゃう……うう、
やら、やらああ、こんな、こんな、すごいえっち、やらあ、ああああん♡」

「んあああっ！！ らめっ、おっぱい、揉むの、だめ、おっぱいまで、なんてえ……
んうっ……！ ち、乳首、ピンピンらめっ、弾かないでえ、ああああっ、やらあ、
ああああん♡ 気持ちよすぎりゅう♡」

「あっ♡ あああああ～♡ ふあ♡ ああ♡ ん……はあん……♡ あっ、ああっ、んふっ、
ああっ、あんっ、ああああっ、あっ、おちんちん、また、おつきく……んうっ、ナカ、
広がっちゃうよおっ、あああああんっ！！」

「腰、こひしゅごい、つよいい♡ あんっ♡ 奥っ、奥、ああっ、しゅごいい、
しゅごいのお、あっ、あっ、子宮、当たって、気持ちいい、ああああ！ こんな、
えっちい……あっ、また来そう、ごめんなさい、ごめんなさい……！」

「あっ、うんっ！ ゆ、指、ね？ アタシ、クリ……あふっ、いじるよお……お兄、
こういう動画見て、一人えっち、したんれしょう……？ お兄の、したいえっち、
アタシが、全部すりゅんだもん、えへ♡」

「アタシ？ アタシの、おかず？ アタシが、一人えっち、する時？ お兄……だよお……

お兄……」

「子供の頃、お兄のこと考えたら……おまんこむずむずしてえ……お兄のこと、考えてえ……初めて、したよお……えへへえ♥」

「あっ、あっ、最初は、えっち、知らなかったから、キス……とかあ……想像して……
触る、だけでえ……えっちのこと、知って、からは、お兄と、してるとこ、想像して……
ナカ、指でえ、ずっと……してたあ……♥」

「最近……えっち、思い出して、してりゅよお♥ んっ、こえ、こええ、このっ、ナカの
好きなとこ、おちんちんにゴリユゴリユ♥ されるの♥ 思い出して♥ 指ですりゅう♥
でもお……」

「あっ、指じゃ足りないのお、切なくなるのお♥ はあ……♥ 幸せ♥ おちんちん入ってて
幸せだよお♥」

「あああっ！！ あっ、急に、激し、激しいよおっ！！ どうして、どうしてえ！！
ああああっ、ゴンゴンいってるうっ！！ あっ、ああっ！！ くるうっ！！
くるくるくるうっ！！」

「やらあああっ！！ やらっ！！ おちんちん、すごいっ！！ ああああっ！！
やらああっ！！ こんな……ああっ、あふっ、ああああっ、イ……あああああああっ、
くるうっ！！」

(絶頂)

「ああああああああああああああ！！」

(絶頂)

「おちんちんドクドクしてるうっ、ああっ、イイ！！ おちんちん気持ちいい！！
いやああああああん♥」

(絶頂)

「んくうっ、やあっ、ナカ、締まるうっ！ んんんううう♥ イクのとまんないいい♥
ああああああっ♥ ああ……あ——、んっ……やあん……♥」

「……あ……はあ……はあ……はあ……ああ……はあ……はあ……」

「……う？ ……うん……大丈夫……」

「ちょっと……トんでた……みたい……？ 頭、真っ白……」

「大丈夫……だけどお……キス……して……？」

(キス)

「ちゅっ……ん……ちゅっ……ふふっ……優しい、キス……ねえ……もつと……ちゅ……
ちゅぶ……」

「ふふ……、幸せ……♥ お兄とのエッチ……大好き……」

「……って……もう、こんな時間……。延長……は……お金、あんまないし……」

「今日は、これで、終わりかあ……」

「もー、そんな寂しそうな顔すんなし……」

「ほーら、お掃除フェラしてあげるから……シャワー浴びる準備しなって……」

「ゴム…外すね……ん……しょ、と………うわ、2回分のせーしてたぶたぶ……こんなの
おまんこに直接出されたら、絶対孕んじゃうね……♥」

「じゃ、いただきまーす♥……れるるる……んむっ……じゅるる……んっ……」

(フェラ)

「……じゅぶ……じゅるるるるっ、じゅぼ、じゅぼ、んむうっ、じゅるるるる……」

(啜えながら)

「んふっ♥ お兄、ビクビクしてる……可愛い♥ んむ……じゅるるる……」

「ん……ぶは……んっ、ゴク……ごく……」

「はい、おしまい♥ おちんちん綺麗になった♥」

「……じゃあ、シャワー行こ？」

「ガマンするの大変だと思うけど……それはその……アタシも……だし」

「いっぱいお金ためて……さ。また来よ？ 約束ね、お兄♥」

11トラック3

(声を殺して)

「……ん……んう……んあっ……んんんっ、あふっ、くう……ん……あああっ……！」

「ああん、もうっ♥ そんな、腰パンパンするのダメエ……♥ アタシのベッド、揺れる、からあ、そんな激しくしたら、お外に、ギシギシ聞こえちゃうってっ……♥」

「パパも、ママも、旅行中で、いないけどお……ご近所さんに、噂されちゃう♥ 男連れ込んで、セックス楽しんでるって……♥ セックス中毒の淫乱娘だって思われちゃう♥」

「あ、だめ、だめだめっ！ 無理、声、ガマンとか無理っ♥あっ、あんっ、あああっ、イクうっ、アタシ、い、イッちゃ……あ……ああああ！」

(絶頂)

「んああああああああっ……！！」

「んんうっ、おちんちん、びゅっびゅってうごいてりゅう、射精してりゅ、ああっ、あふっ、あうう……」

「はあ……はあ……一緒に……イケた……♥」

「はあ……んう……はあ……ねえ、まだ……するでしょ？ 今日は……お泊まり……だもんね♥ 朝まで、たっぷり時間あるんだし……」

「……あー、さっきの気にしてる？ 別に良くない？ 聞かれても♥ なーんもやましーことしてないじゃん♥」

「むしろ、分からせてやんなよ。アタシのことエローい目で見てくる、近所の所帯持ちのオッサンたちにさ……」

「……コイツは俺の女だーって……♥ お兄との……おちんちんセックスがだーいすきな……現役JKだって……♥」

(ディープキス)

「んちゅ……ちゅるるる……んふう……じゅるるっ……くちゅくちゅ……ごく……ぷはあっ、んう……れるれるる……んうう……はふっ、待って、ちょっと待ってえ……ゴム、付け替えてあげるから……」

(ディープキス)

「ちゅ……んん……んんっ！？ じゅぷじゅぷっ、じゅるるるるっ、んむううっ！ ぷはあっ、はあ、はあ、んうっ、んん～！」

「ぷはあっ……！ はい、出来上がり。にしし、上手くなったっしょ。……今度はお兄から、ご褒美ちょーだい♥」

(ディープキス)

「んう……！ ちゅぷぷ……れるれる……じゅぷぷぷっ、ぐちゅぐちゅ、れるるる、ちゅっ、はあ……んむっ、んんっ、ふう……れるれる……ちゅむっ、ん～……ちゅぱっ！」

(軽めのディープキス)

「ちゅ……ちゅるる……ちゅぷ……くちゅくちゅ……れるるる……んふ……ちゅー……ちゅく……ちゅっ、ちゅむ……」

「ね、早く.....おちんちんいれて.....？おまんこ、寂しいんだけど.....♥」

「あ.....入って.....くりゆう.....！ あっ、入っちゃう！ 嘘、こんな.....いきなり
はあっ.....！」

（軽く絶頂）

「ああああああああああっ！！」

「ああ.....ああ.....あん♥ うそお.....♥ いきなり全部.....全部入っちゃったあ.....♥
奥、当たったから.....軽くイッちゃった.....」

「はああん♥ 腰、動かすね♥ ううん♥ 動いちゃうっ♥ 上下♥ 上下に、
ジュポジュポ♥ しゆるね♥」

「あっ、ああっ、ああああっ、んっ、はあっ、あははっ、アタシの、ベッドお、
壊れちゃいそお.....♥ はあ.....こんな音、ママ達いたら、すぐバレちゃうね.....♥
アタシ達♥ 激しいの、激しいえっち、してるって♥ アタシあ、激しいえっち
大好きってえ♥ アタシ♥ お兄のおちんちん大好きで♥ ご奉仕だいしゅきってええ♥」

「んん？ 手、前につくの？ こう？ あっ.....谷間.....谷間、見たかったんだあ.....
おっぱい好き、だよねえ.....ほんと、男の子なんだからあ.....んっ、ああっ、んっ、
いや、じゃないよ.....♥」

「ねえ、んっ、おっぱい、触って？ どうって.....ち、乳首.....♥ 乳首.....さっき、
いっぱいされたから.....ずっと、勃っててえ.....んんっ、えっち、始めてから.....
うずうずしてるのお.....ぎゅってされて.....おまんこきゅんきゅんしたい.....」

「ひゃあんっ♥ そんな.....先っぽ撫でるみたい.....そつとされたら.....あ、あああ〜♥
んふあ.....感じる.....けどお♥ じ、焦れたいよお.....」

「んんうっ♥ まんこ、うねってるの.....？ アタシは、わかんないけどお.....き、お兄が、
気持ちいいならあっ、ち、乳首、優しくしていいよお.....♥ アタシ、おちんちんっ、
おちんちんで、ここ、んうっ、ねっ？ アタシ、ここ、好きでしょ？ ここ、カリで、
コリコリしてるからあ♥ お、おっぱい、我慢すりゅ、お兄が、したいならあ♥ アタシ、
なんでもすりゅう♥」

「はあ♥ んう〜♥ カリ硬い♥ 気持ちいい♥ ああっ、あああっ、あああっ.....！」

「ん.....くうんっ.....♥ 乳首い.....あっ.....んんっ.....切ない.....切ないよおっ.....」

「きゃああっ！ 急に、ぎゅって.....あっ、あうっ、ああああ〜♥ いい♥ 強い方がいい♥
感じる♥ 感じる、ああああんっ♥」

「はあんっ♥ おちんちん、また、おつきくなったあ♥ んうっ.....ええ？ アタシの
まんこが、締まってるの？ あっ、ああっ、わかんない、もうわかんないよおっ.....！」

「硬い、硬い.....！ ナカ全部っ、擦れてるっ！ あっ、ああっ、いい♥ いいよお♥」

「アタシ、イキそう♥ あっ、あっ、ねえ、そろそろ、イク、イクからあ.....♥ ね？
どう？ もう出る？」

「ねえ〜、どうなの？ あっ、あふっ♥ アタシ、一緒がいいからあ♥ お兄がまだならあ、
アタシ、我慢す.....あああああんっ！！」

「あっ！！ 急に、腰、突き上げ、ないでっ！！ あああっ！！ アタシの、奥うっ、そこ好き、好き！！ ああああ～♥ ああっ♥ ああああっ♥ あ♥ あああっ♥ あう♥ あああん♥ やらああ♥ やらああっ♥ ああああんっ♥ んんんう、くりゅ、くりゅううあああああ～♥」

(絶頂)

「うにゃあああああああああああ～♥」

「あ.....はあ.....はあ.....ん.....はあ.....はあ.....」

「ごめんね、アタシ、一人でえ.....先、いつちやった.....♥」

「ふふっ、お兄さ.....なんか前より体力ついたっしょ.....正直、めっちゃカッコイイんだけど.....♥」

「今度は.....アタシのこと、考えなくていいから.....お兄の好きなように動きなよ.....♥」

「お兄にも、おんなじくらい.....気持ちよくなってほしい、からさ.....」

(キス)

「んっ...！ ちゅ.....んちゅ.....ふふ、なあに～？ 急にい.....んむっ、んう～.....♥ ふふっ.....」

(キスしながら)

「んっ、んうっ.....あっ、あんっ.....二人とも、腰、動いちゃうね.....♥ ちゅ.....んっ、んう、んふうっ.....あっ、ああっ、あっ、ああん♥」

(キスしながら)

「ちゅく.....んっ♥ んっ♥ んんっ♥ はあっ.....ああっ、あんっ、ああ.....！ ねえ♥ ベロ.....出して♥」

(ディープキス)

「んん～.....じゅぶっ、れるれる.....んっ、んふっ、んん.....ぷはあ.....れるる.....ちゅぶっ、ちゅぱっ、はあ.....はあ.....んっ♥ んんっ♥ んむう～♥ はあ、はあ～♥ んむう、れるれるれる.....じゅっ、じゅるるっ！」

「ぷはあっ！ はあ、ああっ、もう、むり、むいい♥ 苦しい.....♥ はああん♥ あっ、あっ、あんっ、ああんっ！」

「ああ～♥ いい♥ いいよお～♥ んう.....また.....おっぱい見てるう.....ん.....いいよ.....来てえ～♥」

「あっ♥ あっ♥ お兄の頭、だっこすりゅのっ♥ 好きいつ♥ ん.....あっ.....♥ おっぱい.....ちゅぱちゅぱしてるう.....♥ んう♥ んふふっ♥ あああああ～ん♥ はあ♥ らめ♥ らめえ♥ 乳首、舐められるの.....気持ち.....良くてえ～♥」

「ああ～♥ んううっ♥ 唇も.....ベロも柔らかくて.....んう.....えへへ♥ 優しく吸われるの、きもちい♥ えへへ♥ アタシのおっぱい、吸ってえ.....赤ちゃんみたい、可愛いねえ.....♥」

「あんっ！ 噛んだら、痛いよお.....ん.....んう～♥ しゅき♥ 噛まれるのしゅきい♥ あ、ああああああっ.....♥ ぺろぺろされてりゅ♥ 乳首.....激しい.....あっ、ああっ.....来てるう.....♥ きもちいの来てりゅう♥」

「ひゃああああっ♥ んんんっ♥ きもちい♥ きもちいよおっ♥ ふええ？ き、きもちい、

きもちいいところはあ……♥ んあああああつ♥ んんううう♥ 全部う、ぜ、全部う……♥」

「んんんあああああつ！ おっぱいもお♥ おちんちんも♥ 激しい♥ えっち激しい♥ んんうう♥ 好き♥ しゅきしゅきしゅき♥ あああああつ！ やらああ、こんな気持ちいのやらああああつ、ああああああ、もうくるうつ、んんにやさしいっ！」

「あああああつ！！ アタシイク、イクイク、あああああああああああつ！！
ごめんなさいいいいっ！！」

(絶頂)

「あああああああああああああつ！！」

「しゅきいっ♥ しゅき♥ 全部好きいっ♥ 好き好き♥ あああつ、あああああんっ……！」

「はああん……ああ……あああ……んう……んああ……」

「ん……ねええ……キス……しよ～♥」

(キス)

「ちゅ……。う？ ねえ、キス～……ちゅ……。ん、もう、焦らさないでえ♥ ディープキスしたいよお♥ 舌ペロペロしたいのお……そりゃあ疲れたけどお、そんなことより……もっとなのお♥」

(ディープキス)

「んううつ……くちゅ……じゅぶじゅぶ……じゅるるるっ……ん……ねえ、おっぱい揉んで……んむうつ！？ んんっ、んんんっ、んっ、んんっ、ちゅば、好きい……ちゅむっ、くちゅくちゅくちゅ……じゅるるる……んん……れるれるれる……は……あ……♥」

「んん……しゅきい……♥ んう……？ お兄のおちんちん……？ んふっ、大好きだよお……♥ でも、お兄がしゅきなのお♥ だから全部好き♥ 焦らしたり、アタシを恥ずかしがらせたり、意地悪するところも♥ えっちな動画見たり、アタシのおっぱいばっかり見たり、男の子っぽいえっちなところも♥ キスも♥ おちんちんも♥ 精子も好き♥ 全部好き♥ なんでもすりゅ♥ なんでもしてあげりゅのお……♥」

「んおお！？ いきなり……大きい♥ はあ……ああん♥」

「ん……うう……ん……♥ 動く……ね……♥」

「んっ♥ んっ♥ あっ♥ おっ♥ おおっ♥ おふっ♥ んぐうつ♥ おちんちん、おつきい♥ あうう♥ おっ♥ おおっ♥ おぐうつ♥ ぎもちいいっ♥ あっ、あうっ、アタシあ、アタシのナカ、おちんちんでいっぱい♥ 苦しい♥ 苦しいよおっ♥ はあ、はあ♥ あああんっ……♥」

「んおおっ♥ おほおっ♥ ぐるじいよおっ♥ あふっ♥ ああうっ♥ あああつ！ んんっ、ああっ、ごめんにやさしい、ごめんにやさしい、アタシあ、アタシあつ……！」

「ヤバっ♥ 気持ち良すぎるの、怖いんだけど……♥ あっ、ああああああ！ なにこれ、わけ、わかんない……♥ ……でもやめないで、これ、ヤバいの、怖いけど、なんか、もっ、頭、まっしろでえ……♥」

「あああつ♥ 許してえ♥ ぎもちよすぎて♥ 怖いのおっ♥ おっ♥ おおっ♥ ごんなの♥ 良すぎて怖い♥ 怖い……！」

「あっ、もう♥ お兄のバカ♥ ダメっ♥ ピストンゆるめちゃダメっ♥ アタシが助けてって、ゆるしてーって言っても、お兄は絶対手加減しちゃダメ♥ お兄は今、現役JKをおちんちん中毒にしている最中だから♥おちんちん、いっぱいキメなきゃダメなのっ♥」

(ディープキス)

「んんんっ!? ちゅ、ちゅむ、じゅるるる、んんうっ! ぷはっ! ああっ!
苦し.....おっ♥ おっ♥ おっ♥ おちんちん♥ おちんちん強いっ♥ おぐ♥ おぐ突いて
くりゅ♥ こえだめ♥ こえらめえええ〜♥ あああ〜♥ んん.....ちゅくちゅく、
れるるる.....じゅぷぷぷ.....ふぁっ.....あああ〜♥」

「んぐっ♥ はああ〜♥ くるひい♥ ああああ〜♥ んうう♥ ああっ.....あっ、んう.....
ちゅーしてえ.....アタシにちゅーう♥」

(ディープキス)

「んんう♥ んんんうっ♥ ちゅぷちゅぷ.....くちゅくちゅ.....じゅぷっ、じゅるるる.....
んんんんう♥ じゅぷぷ.....ああ.....んむっ.....れるる.....ちゅむ.....ちゅぱっ!
はあ! はあ.....ああっ、あああああああんっ♥」

「わ、わかった、わかったのお.....♥ 奥っ♥ 奥♥ こんなの、初めてえ♥ 初めてで♥
でもわかったあ♥ わかったのお♥ アタシ、女だからあ、わかるのお♥」

「アタシあ.....♥ 子宮降りてきてりゅ♥ お兄の精子欲しくて♥ アタシの身体、えっちの
為に降りてきてりゅのおお♥」

「太い先っぽ♥ いつもより♥ 子宮に当たる♥ 直接、当たってりゅよお♥ あううっ♥
こえ、やばあい♥ 強い♥ おおっ♥ おおっ♥ あああんっ♥」

「んああああっ♥ 先端で♥ 子宮グリグリされてりゅうっ♥ あああっ♥ 子宮揺れてりゅ♥
ああ♥ あああっ♥ ひやああああんっ♥ ああ♥ ああああっ♥ イグっ♥ イグウ♥
あふあああ♥ ひやううんっ♥」

「はああああんっ♥ やらあああっ♥ ひやうっ♥ おっ♥ おおおっ♥ おぼっ♥ んほお♥」

(絶頂)

「あっ♥ あああああああああああああんっ.....!!」

「ああああっ.....ああっ.....!! あひっ.....あ.....」

「.....んぐっ.....あ.....あゝ.....かはっ.....はっ.....はっ.....はあ.....あ.....う.....」

「.....んう.....? あ.....あれ.....アタシ今.....もしかして、完全にトんじゃった.....?」

「うん.....ヤバかった.....お兄の本気ピストン.....死ぬかと思った.....♥」

(耳にキス)

「んーん.....ホントはね、お兄になら、何されても怖くないから.....あーウケる.....アタシ
結構、Mっぽいのかも.....♥」

「てかさ、前より恥ずいこと言うのにも抵抗無くなって来たって言うか.....エッチの最中、
あんま覚えてないんだけど.....アタシ、結構ヤバいこと言ってるっしょ?」

「でも、それが多分.....ホントのアタシ。全部本音♥ お兄のことが大好きで、お兄との
セックスに夢中な.....幼馴染の現役JKギャルで一す♥」

「だから.....今さら引いたりすんなよ♥ アタシ.....もう、お兄無しとか無理だから♥」

「ふふ.....さすがにちょっと疲れた？ お疲れ、1回休憩しよつか.....」

「あ、でもおちんちん抜くの禁止～.....今日はお兄と.....ずっとつながってたいし.....」

「にしし.....♥ ね、ぎゅーしよ？ ぎゅー♥ ほら、もっとお♥ 脚も脚絡めて.....もー、
照れるなし♥.....おらおら、くっつけくっつけ～.....♥」

「.....んっ♥ あれ～？ おちんちん、また元気になってんだけど.....♥」

「え、ダメなわけじゃないじゃん.....♥ いーよ♥ お兄が満足するまで.....」

「いっぱいいっぱい、おまんこセックスしよ？ お兄♥」